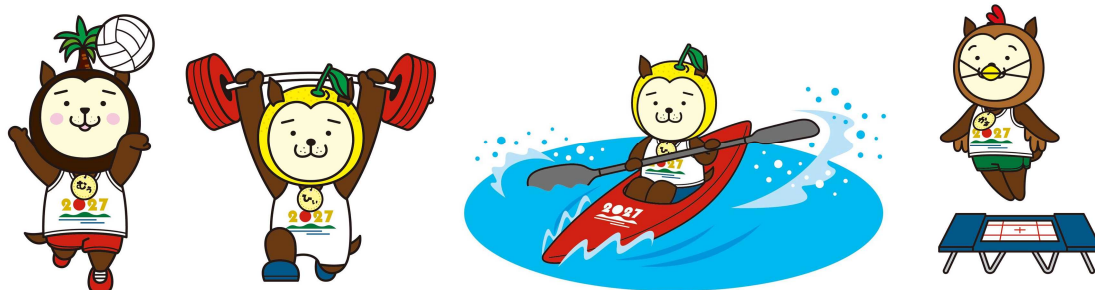


第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会

小林市準備委員会 第 1 回常任委員会



期日：令和 6 年 5 月 2 0 日（月）

つと
紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ



第 1 回 常任委員会 会次第

日時：令和 6 年 5 月 20 日（月）10：00～

会場：小林市役所第 1 別館大会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 報告事項

○報告第 1 号

小林市準備委員会委員・役員の変更について

4 議 事

○議案第 1 号

令和 5 年度事業報告について…………… P 6

○議案第 2 号

令和 5 年度決算報告について…………… P 9

○議案第 3 号

令和 6 年度事業計画(案)について…………… P11

○議案第 4 号

令和 6 年度収支予算(案)について…………… P13

○議案第 5 号

専門委員会の設置(案)及び専門委員会への付託・委任事項(案)について… P14

①専門委員会組織図

②専門委員会規程

③専門委員会スケジュール

④専門委員会業務一覧

5 その他

6 閉 会

報告第 1 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会

小林市準備委員及び役員等の変更について

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会会則第 8 条第 3 項に基づき、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会委員及び役員等の変更について、次のとおり報告します。

(順不同・敬称略)

副会長（1 名）

機関・団体・役職名（新任者）	新任者	前任者
小林市教育委員会 教育長	大山 和彦	中屋敷 史生

常任委員（10 名）

機関・団体・役職名（新任者）	新任者	前任者
小林市中学校校長会 会長	肝付 正籍	谷口 千尋
宮崎県立学校長協会西諸県地区 理事	黒木 篤	光神 省三
宮崎交通株式会社小林営業所 所長	頼本 健一郎	立岡 久美夫
小林警察署 署長	中武 泰博	甲斐 義勝
小林市総務部 部長	安楽 究	山口 恭史
小林市総合政策部 部長	牧田 純子	山下 雄三
小林市健康福祉部 部長	富満 聖子	安楽 究
小林市教育部 部長	松元 公孝	日高 智子
小林市須木総合支所 支所長	藤崎 浩一	富永 新光
小林市野尻総合支所 支所長	一色 俊一郎	大山 公弘

報告第1号

監事（2名）

機関・団体・役職名（新任者）	新任者	前任者
小林市 会計管理者	山口 恭史	牧田 純子
小林市 監査委員事務局長	園田 恵津子	谷山 宏志

委員（12名）

機関・団体・役職名（新任者）	新任者	前任者
宮崎県小林保健所 所長	和田 陽市	坂元 昭裕
小林土木事務所 所長	戸田 正人	行田 明生
西諸県農林振興局 局長	林田 宏昭	戸高 久吉
宮崎県体操協会 理事	米原 雄一郎	柿木 真也
小林市小学校体育連盟 会長	大木場 俊弘	児玉 善彦
西諸地区中学校体育連盟 会長	田中 美津枝	肝付 正籍
一般社団法人 小林青年会議所 理事長	内田 遼	吉行 輝真
小林地区交通安全協会 会長	内 一幸	溝口 誠二
宮崎県立小林高等学校 校長	黒木 篤	永倉 英了
宮崎県立小林秀峰高等学校 校長	岩切 正義	黒木 篤
宮崎県立小林こすもす支援学校 校長	森永 英津子	菅 竜朗
小林市 PTA 協議会 会長	吉藤 勇生	齋藤 禎

顧問（1名）

機関・団体・役職名（新任者）	新任者	前任者
小林市教育委員会 教育委員	永井 良雄	槇 光子

参与（2名）

機関・団体・役職名（新任者）	新任者	前任者
時事通信社宮崎支局 支局長	前田 憲之	平野 文彩
MRT 都城支社 報道部	渕 雅頭	丸山 敦子
テレビ宮崎 主任	又川 岳人	川越 勇輝

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
令和6年度 小林市準備委員会委員・役員名簿

【会長】 1名

区 分	所属団体等	役 職 名	氏 名
市関係	小林市	市長	宮原 義久

【副会長】 4名

区 分	所属団体等	役 職 名	氏 名
市議会関係	小林市議会	議長	吉藤 洋子
スポーツ関係	小林市スポーツ協会	会長	山下 康一
市関係	小林市	副市長	鶴水 義広
	小林市教育委員会	教育長	大山 和彦

【常任委員】 28名

区 分	所属団体等	役 職 名	氏 名
市議会関係	小林市議会	副議長	鎌田 豊数
県競技団体	宮崎県バレーボール協会	理事長	中馬 義郎
	宮崎県ウエイトリフティング協会	会長	福島 博明
	宮崎県体操協会	会長	海老原 郷士
	宮崎県カヌー協会	会長	中馬 光久
スポーツ関係	小林市スポーツ推進委員協議会	会長	山之内 茂文
学校関係	小林市小学校長会	会長	吉井 秀一
	小林市中学校長会	会長	肝付 正籍
	宮崎県立学校長協会西諸県地区	理事	黒木 篤
産業・経済関係	小林商工会議所	会頭	税所 篤朗
	宮崎県農業協同組合 こばやし地区本部	常務理事	瀬崎 博志
通信・運輸関係	宮崎交通株式会社小林営業所	所長	頼本 健一郎
宿泊・観光関係	小林市旅館・ホテル組合	組合長	湯田 近三
	小林まちづくり株式会社	統括部長	木村 洋文
医療・福祉関係	一般社団法人西諸医師会	会長	内村 大介
	小林市社会福祉協議会	会長	吉丸 政志
	小林市障害者福祉連絡協議会	会長	吉田 耕二
社会団体関係	小林市区長会	会長	橋ノ口 孝一
県関係	小林警察署	署長	中武 泰博
警備・消防関係	西諸広域行政事務組合消防本部	消防長	鬼川 雄治
市関係	小林市総務部	部長	安楽 究
	小林市総合政策部	部長	牧田 純子
	小林市経済建設部	部長	高野 憲一
	小林市市民生活部	部長	鷗野 裕一
	小林市健康福祉部	部長	富満 聖子
	小林市教育部	部長	松元 公孝
	小林市須木総合支所	支所長	藤崎 浩一
	小林市野尻総合支所	支所長	一色 俊一郎

【監事】 2名

区 分	機関・団体名	役 職 名	氏 名
市関係	小林市	会計管理者	山口 恭史
	小林市	監査委員事務局長	園田 恵津子

【委員】36名

区 分	所属団体等	役 職 名	氏 名
国・県関係	陸上自衛隊えびの駐屯地	司令	大江 良治
	宮崎県小林保健所	所長	和田 陽市
	小林土木事務所	所長	戸田 正人
	西諸県農林振興局	局長	林田 宏昭
スポーツ関係	小林地区バレーボール協会	会長	相星 正人
	宮崎県体操協会	理事	米原 雄一郎
	小林市小学校体育連盟	会長	大木場 俊弘
	西諸地区中学校体育連盟	副会長	田中 美津枝
	小林市スポーツ少年団	本部長	山川 和彦
産業・経済関係	小林地区建設業協会	会長	河野 与一
	野尻町商工会	会長	淵上 鉄一
	すき商工会	会長	平川 春義
	一般社団法人 小林青年会議所	理事長	内田 遼
医療・福祉関係	小林市友愛クラブ連合会	保健体育部長	加藤 宣夫
	小林市あかつき福祉協会	会長	早田 孝信
	西諸地域精神保健福祉協議会	会長	出井 知博
	小林市知的障害者育成会	代表	小田 恭子
	小林市歯科医師団	団長	小城 研二
	一般社団法人にしもろ薬剤師会	会長	平嶺 秀一
警備・消防関係	小林市消防団	団長	芝原 靖彦
	小林地区交通安全協会	会長	内 一幸
	小林地区防犯協会	事務局長	小原 一水
通信・運輸関係	日本郵便株式会社小林郵便局	局長	岡本 光史
	西日本電信電話株式会社宮崎支店	支店長	横奥 宏明
	宮崎県タクシー協会小林支部	支部長	後口 昌賢
	グリーンシティこばやし株式会社	代表取締役	前田 喜輝
	九州電力株式会社都城営業所	所長	横山 隆
学校関係	小林西高等学校	校長	竹元 和寛
	小林看護医療専門学校	副校長	深見 信子
	宮崎県立小林高等学校	校長	黒木 篤
	宮崎県立小林秀峰高等学校	校長	岩切 正義
	宮崎県立小林こすもす支援学校	校長	森永 英津子
社会団体	小林市地域婦人連絡協議会	会長	上原 裕子
	小林市文化連盟	会長	園村 正晴
	小林市PTA協議会	会長	吉藤 勇生
	小林市青少年育成市民会議	事務局長	久保田 恭史

【顧問】12名

区 分	所属団体等	役 職 名	氏 名
国会議員	衆議院	議員	古川 禎久
	参議院	議員	長峯 誠
	参議院	議員	松下 新平
県議会議員	宮崎県議会	議員	丸山 裕次郎
	宮崎県議会	議員	下沖 篤史

区 分	所属団体等	役 職 名	氏 名
市議会議員	小林市議会総務文教委員会	委員長	押領司 剛
	小林市議会市民厚生委員会	委員長	有木 将吾
	小林市議会経済産業委員会	委員長	舞田 重治
教委関係	小林市教育委員会	教育長職務代理者	大部 蘭 智子
	小林市教育委員会	教育委員	廣崎 真美
	小林市教育委員会	教育委員	永井 良雄
	小林市教育委員会	教育委員	園田 貞哉

【参与】8名

区 分	所属団体等	役 職 名	氏 名
報道関係	宮崎日日新聞社小林支局	支局長	成田 和実
	南日本新聞社都城支局	総局長	深野 修司
	読売新聞宮崎支局都城通信部	記者	木村 歩
	毎日新聞社宮崎支局	記者	下 蘭 和仁
	時事通信社宮崎支局	支局長	前田 憲之
	NHK宮崎放送局	記者	福島 雅博
	MRT報道部	記者	淵 雅顕
	テレビ宮崎	主任	又川 岳人

議案第 1 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会 令和 5 年度事業報告について

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会令和 5 年度事業計画に基づき、次の事業を実施し、円滑な準備業務に努めた。

1 諸会議の開催

(1) 設立総会

- ・ 日 時 令和 5 年 7 月 26 日（水曜）
- ・ 会 場 ガーデンベルズ小林
- ・ 審議事項 ①準備委員会会則
②準備委員会委員・役員
- ・ 審議結果 原案のとおり議決

(2) 第 1 回総会

- ・ 日 時 令和 5 年 7 月 26 日（水曜）
- ・ 会 場 ガーデンベルズ小林
- ・ 審議事項 ①小林市開催基本方針
②令和 5 年度事業計画
③令和 5 年度収支予算
④準備委員会総会から常任委員会への委任事項
- ・ 審議結果 原案のとおり議決

2 先催市の準備状況等の調査及び研究

(1) 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の視察調査

	種別	日程	開催市	視察人数
1	トランポリン	9/18	鹿児島市	2 人
2	カヌー（スプリント）	10/13、10/16	伊佐市	18 人
3	ウェイトリフティング	10/14	薩摩川内市	3 人
4	バレーボール（少年女子）	10/10、10/11	鹿児島市	5 人
5	バレーボール（精神）	10/28	鹿屋市	2 人

議案第 1 号

(2) 佐賀国スポ・障スポリハーサル大会の視察調査

	種別	日程	開催市	視察人数
1	ウエイトリフティング	11/23	佐賀市	2人

(3) 燃ゆる感動かごしま国体事業概要説明会（事後報告会）

	種別	日程	開催市	視察人数
1	ウエイトリフティング	12/19、12/20	薩摩川内市	3人
2	体操（トランポリン） バレーボール（少年女子）	12/21、12/22	鹿児島市	3人
3	カヌー（スプリント）	10/14	伊佐市	2人

(4) 先催市の情報収集

①国スポカヌー競技担当者研修会

- ・期 間 令和5年11月18日～11月19日
- ・会場地 滋賀県東近江市
- ・人 数 2人

②佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場の視察調査

- ・期 間 令和5年11月24日（金曜）
- ・会場地 佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場
- ・人 数 3人

3 開催準備業務の推進、関係機関及び競技団体との連絡調整

(1) 中央競技団体正規視察

①カヌー（スプリント）

- ・期 日 令和5年12月15日（金曜）
- ・視察対象 （仮称）小野湖特設カヌー競技場
- ・視 察 員 （公社）日本カヌー連盟 国体委員会副委員長 北川 浩正氏
（公社）日本カヌー連盟 カヌースプリント競技運営委員長 田村 一樹氏

②体操（トランポリン）

- ・期 日 令和6年1月29日（月曜）
- ・視察対象 （仮称）健幸まちづくり拠点施設
- ・視 察 員 （公財）日本体操協会 副会長 佐久間 裕司氏

議案第 1 号

(2) 県準備委員会との連絡調整

○市町村担当者会議

・期 日 令和5年5月12日、11月13日

(3) 競技団体等と連絡調整のもと宮崎県準備委員会が行う各種調査への回答作成

調 査 項 目	調 査 期 間
①競技用具整備計画（第2次）調査	4月20日～8月25日
②練習会場（第2次）調査	4月28日～7月28日
③競技別リハーサル大会開催意向（第1次・再）調査	5月15日～7月31日
④第1次仮配宿及び充足対策意向調査	6月28日～7月31日
⑤補助員編成（第1次）調査	9月6日～12月1日
⑥競技会会期（第2次）調査	10月13日～12月22日

(4) 関係競技団体及び共催市町との連絡調整（各競技随時）

(5) 各関係団体との連絡調整（各競技随時）

4 広報活動

(1) イベントでの啓発活動

○第52回健幸こばやし大運動会

- ・期 日 令和5年10月22日（日曜）
- ・場 所 小林総合運動公園市営陸上競技場
- ・内 容 トランポリン・ウエイトリフティングのデモンストレーション
みやざき犬・こすも〜によるPR
ノベリティグッズ（ティッシュ）の配布

(2) 広報啓発物の作成

- ①ポケットティッシュの作成 5,000個
- ②PR用ポロシャツの作成 20着

議案第 2 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会

令和 5 年度収支決算書

○収入の部

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	差引額	備 考
1 負担金	905, 000	905, 000	0	小林市負担金
2 諸収入	1, 000	2	△998	預金利息
合 計	906, 000	905, 002	△998	

○支出の部

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	差引額	備 考
1 総務費	412, 000	321, 856	90, 144	
(1) 会議費	212, 000	165, 000	47, 000	会場費
(2) 事務局費	200, 000	156, 856	43, 144	消耗品費
2 開催推進費	494, 000	517, 180	△23, 180	
(1) 調査研究費	356, 000	374, 680	△18, 680	先催地調査費
(2) 広報啓発費	138, 000	142, 500	△4, 500	PR 用ティッシュ、PR 用ポロシャツ
合 計	906, 000	839, 036	66, 964	

収入額

支出額

差引額

905, 002 円

—

839, 036 円

=

65, 966 円

※差引額については、次年度へ繰り越し

監 査 報 告

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会会則第 17 条の規定に基づき、令和 5 年度の収支決算に関する証拠書類及び関係諸帳簿について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。

令和 6 年 4 月 24 日

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会
小林市準備委員会

監 事 小林市会計管理者

山口 恭史 

監 事 小林市監査委員事務局長

園田 恵津子 

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会

小林市準備委員会

会 長 宮 原 義 久 様

議案第 3 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会

令和 6 年度事業計画（案）

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会令和 6 年度事業計画を次のとおり定め、円滑な準備業務に努める。

1 諸会議の開催

- (1) 総会の開催
- (2) 常任委員会の開催
- (3) 各専門委員会の開催
(総務・企画、競技・式典、魅力発信・おもてなし、宿泊・衛生、輸送・交通)

2 先催市の準備状況等の調査及び研究

- (1) 「SAGA2024 国スポ・全障スポ」の視察調査
- (2) 「SAGA2024 国スポ・全障スポ」の事業報告会への出席
- (3) 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」リハーサル大会の視察調査
- (4) 先催市の情報収集

3 開催準備の推進

- (1) 競技会場、練習会場の施設整備
- (2) 競技用具の整備の調整

4 関係機関及び競技団体との連絡調整

- (1) 鹿児島県及び市内の国体関係部署との連絡調整
- (2) 競技団体及び各種団体のとの連絡調整

5 広報活動

- (1) 気運醸成の PR 活動
- (2) 市内各種イベントでの啓発活動
- (3) ホームページ・広報紙・SNS 等での情報発信

議案第3号

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会 令和6年度事業計画（スケジュール）（案）

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会の令和6年度事業計画は、次のとおりとする。

月	会議等	事 務							
4 月	小林市教育委員会に「国スポ・障スポ推進室」を設置	県各種調査	県準備委員会との連絡調整	専門委員会（各種基本計画策定及び要項作成）の開催	庁内連携の推進	競技団体との連絡調整	先催地準備状況の情報収集		
5 月	●第1回準備委員会常任委員会								
6 月	●各専門委員会の設置、運営								
7 月									
8 月									
9 月	●佐賀国スポ大会の視察								
10月	●第2回準備委員会常任委員会 ●佐賀国スポ大会の視察								
11月	●カヌー競技担当者説明会（青森） ●第2回準備委員会総会→改組 ●実行委員会設立 ●第1回実行委員会総会								
12月	●佐賀国スポ事業概要説明会								
1 月									
2 月	●第1回実行委員会常任委員会								
3 月									

議案第 4 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会 令和 6 年度収支予算（案）

○収入の部

（単位：円）

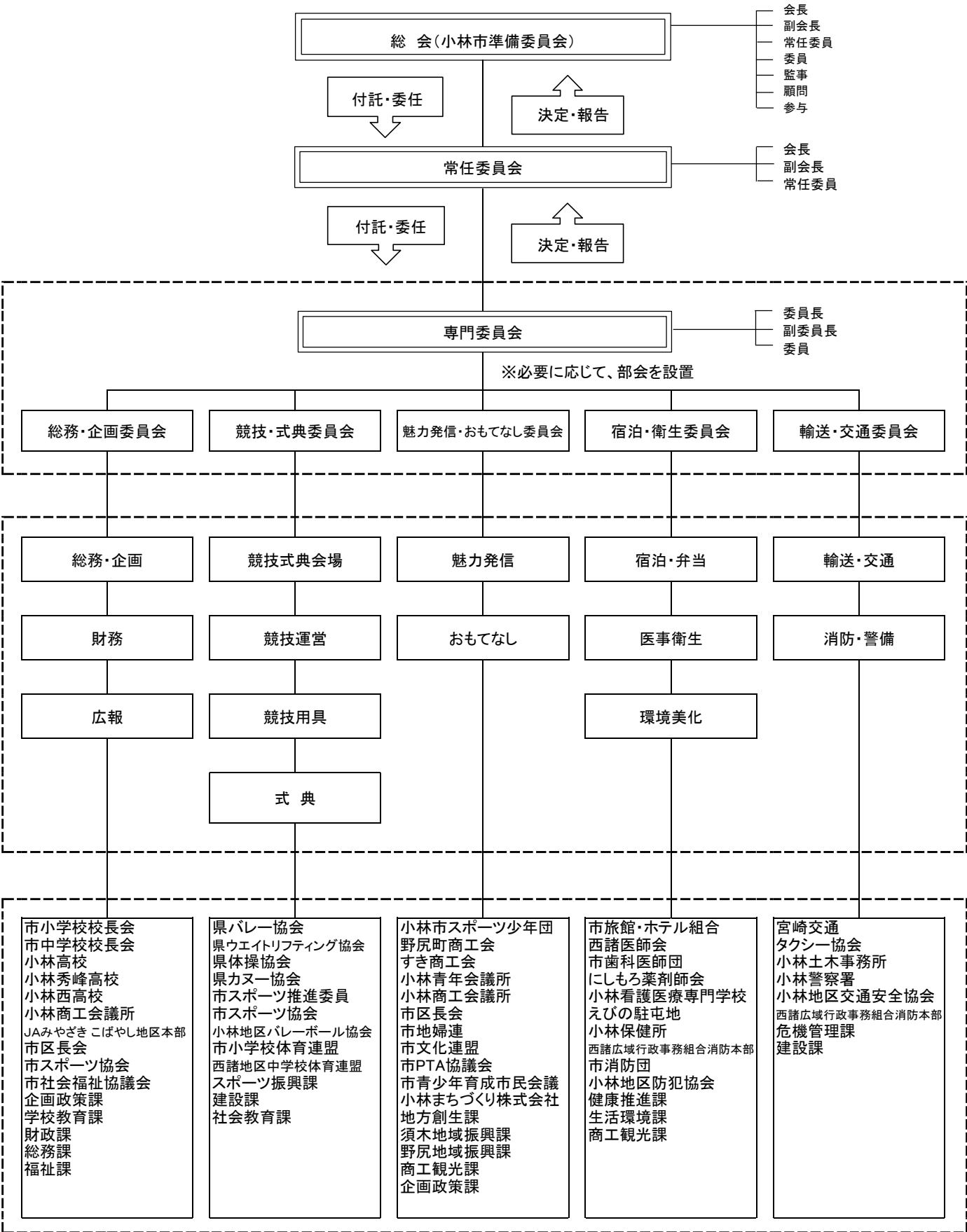
科 目	予算額	備 考
1 負担金	1,809,350	小林市負担金
2 繰越金	65,966	令和 5 年度繰越金
3 諸収入	1	預金利息
合 計	1,875,317	

○支出の部

（単位：円）

科 目	予算額	備 考
1 総務費	464,440	
(1) 事務局費	464,440	消耗品費、通信運搬費、手数料等
2 開催推進費	1,410,877	
(1) 調査研究費	1,101,250	先催地調査費
(2) 広報啓発費	309,627	P R 用のぼり旗等
合 計	1,875,317	

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会組織図



議案第 5 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会専門委員会規程（案）

（趣旨）

第 1 条 この規程は、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会会則第 13 条第 3 項の規程に基づき、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会専門委員会（以下「専門委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（専門委員会の名称等）

第 2 条 専門委員会の名称並びに第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会常任委員会からの付託及び委任事項は、別表のとおりとする。

（委員長及び副委員長）

第 3 条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、専門委員会委員のうちから、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会会長（以下「会長」という。）が定める。

3 委員長は、会務を総理し、専門委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第 4 条 専門委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて委員長が招集し、議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、開会し議決することはできない。ただし、委員が会議に出席できないときは、当該委員の指名する者が代理して出席し、代理権を行使することができる。

議案第 5 号

- 3 専門委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要に応じて、会議に委員以外の者の出席を求め、その説明若しくは意見を聴き、又はこれらの者から必要な資料の提出を求めることができる。
- 5 前3項の規定にかかわらず、委員長が必要と認めたときは、書面により、専門委員会を開会することができる。この場合において、賛否を表明した委員を出席委員とみなす。

(部会)

第5条 専門委員会は、必要があると認めるときは、部会を設置し、専門的事項について調査、研究等を行わせ、その結果を報告させることができる。

- 2 部会は、委員長が指名した委員をもって構成する。
- 3 部会長は、委員長が指名する者をもって充て、部会を総括する。
- 4 前条の規定は、部会について準用する。

(その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、専門委員会の運営に関し必要な事項は、各専門委員会委員長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、令和 年 月 日から施行する。
- 2 第4条第1項の規定にかかわらず、専門委員会の最初の会議は、会長が招集する。

議案第 5 号

別表（第 2 条関係）

専門委員会名称	付託事項	委任事項
総務・企画専門委員会	1 総務・企画に関すること。 2 財務に関すること。 3 広報に関すること。 4 他の専門委員会に属さない事項に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
競技・式典専門委員会	1 競技・式典会場に関すること。 2 競技運営に関すること。 3 競技用具に関すること。 4 式典に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
魅力発信・おもてなし専門委員会	1 魅力発信に関すること。 2 おもてなしに関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
宿泊・衛生専門委員会	1 宿泊・弁当に関すること。 2 医療衛生に関すること。 3 環境美化に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。
輸送・交通専門委員会	1 輸送・交通に関すること。 2 消防・警備に関すること。	左記付託する事項のうち、事業の実施に関すること。

議案第 5 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会 令和 6 年度小林市準備委員会専門委員会スケジュール

【総務・企画専門委員会】

回次	開催予定月	審議予定内容
第 1 回	6 月	・ 開催準備総合計画（案）の審議 ・ 広報基本計画（案）の審議
第 2 回	9 月	・ 企業協賛取扱要項（案）の審議

【競技・式典専門委員会】

回次	開催予定月	審議予定内容
第 1 回	8 月	・ 競技運営基本計画（案）の審議 ・ 競技用具整備計画（案）の審議 ・ 施設整備基本計画（案）の審議 ・ リハ大会開催基本計画（案）の審議

【魅力発信・おもてなし専門委員会】

回次	開催予定月	審議予定内容
第 1 回	6 月	・ 市民運動基本計画（案）の審議 ・ 観光・接伴基本計画（案）の審議
第 2 回	9 月	・ ボランティア募集要項（案）の審議

【宿泊・衛生専門委員会】

回次	開催予定月	審議予定内容
第 1 回	8 月	・ 宿泊基本計画（案）の審議 ・ 医事、衛生基本計画（案）の審議 ・ 医療救護要項（案）の審議 ・ 防疫対策要項（案）の審議 ・ 食品衛生対策要項（案）の審議 ・ 環境衛生対策要項（案）の審議

【輸送・交通専門委員会】

回次	開催予定月	審議予定内容
第 1 回	8 月	・ 輸送、交通基本計画（案）の審議 ・ 消防防災、警備基本計画（案）の審議

※より詳細な事項については、部会を設置し、審議を行います。

※必要に応じて、上記開催予定月に関わらず、各専門委員会を開催する場合があります。

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市広報基本計画

1 目的

「燃ゆる感動かごしま国体」の開催にあたり、市民、企業、団体等の関心を高め、大会を盛り上げるとともに、薩摩川内市の魅力を広く全国に発信していくため、効果的かつ積極的な広報を行うことを目的とする。

2 内容

(1) 印刷物等による広報

大会愛称、スローガン、マスコット等を活用し、印刷物や啓発物品を作成する。

- ア 市、関係機関の広報紙等への掲載
- イ ポスター、パンフレット等の作成
- ウ 啓発グッズの作製

(2) メディアによる広報

報道機関との連携を密にし、迅速かつ広域的な情報の伝達に努め、効果的な広報活動を展開する。

- ア 新聞、テレビ、ラジオ等による広報
- イ インターネットによる情報発信

(3) イベントによる広報

各種イベントと連携した広報啓発活動を実施する。

- ア 啓発イベントの開催
- イ 各種イベント開催機関との連携

(4) 屋外広告物による広報

広告看板や横断幕等を設置して国体開催の広報に努める。

- ア 広告、歓迎看板等の設置
- イ 横断幕、懸垂幕、のぼり旗等の設置
- ウ 案内板の設置

(5) 大会の記録等

大会の成果を記録にとどめるため、報告書等を作成する。

- ア 大会報告書の作成
- イ 大会写真、映像集の作成

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市運営ボランティア募集要項

1 目 的

この要項は、燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市市民運動基本計画に基づき、特別国民体育大会燃ゆる感動かごしま国体（以下「本大会」という。）において、市民一人ひとりが英知と情熱を結集した薩摩川内市ならではの魅力あふれる大会とするため、燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市市民運動基本計画に基づき、運営等のボランティア募集について、必要な事項を定める。

2 募集主体

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市実行委員会（以下「実行委員会」という。）

3 運営活動種別及び活動内容

区 分	主 な 活 動 内 容
受 付 ・ 会 場 案 内	競技会場での受付・案内、シャトルバス・主要駅での案内資料配布等
会 場 整 理 ・ 誘 導	競技会場内整理、駐車場での誘導
会 場 美 化	会場及び周辺の清掃、花の管理、ゴミ箱の管理等
休 憩 所 ・ 弁 当 配 布	休憩所でのドリンクサービス及び接待、弁当引換所での弁当の配布及び空箱回収等
情 報 支 援	手話、要約筆記（手書き、パソコン）等
そ の 他	上記のほか競技運営に関する活動等（駐車場整理・救護等）

4 活動場所

各競技会場及び周辺、主要駅案内所等

5 活動対象期間

令和5年9月～10月

※各大会の詳細会期は、別紙運営ボランティア登録申込書に記載

※ただし、業務によっては、上記以外の日程に活動をお願いすることもある。

6 募集人数

約400人程度

7 募集期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日（定員に達し次第終了）

8 募集要件

平成23年4月1日以前に生まれた方（令和5年4月1日時点で12歳以上）。情報支援ボランティア（手話、要約筆記等）については平成16年4月以前に生まれた方（令和5年4月1日時点で19歳以上）で、次のいずれかの事項に該当すること。ただし、18歳未満（令和5年4月2日から令和6年4月1日に18歳に達する者を含む）の方は、保護者の同意を必要とする。

- (1) 原則、薩摩川内市に在住または通勤・通学している個人。
- (2) 薩摩川内市に活動の拠点を有する団体。

9 募集・応募方法

登録申込書に必要事項を記入し、実行委員会事務局へ持参、郵送、FAX またはメールにより申し込むこと。（下記参照）

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市実行委員会事務局（薩摩川内市国体推進課内）

〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号

TEL：0996-23-5111 FAX：0996-20-5570

E-mail：kokutai-kikaku@city.satsumasendai.lg.jp

10 登録・抹消(登録)・証明

- (1) 実行委員会は、募集要件を満たした応募者を、運営ボランティアとして登録する。
- (2) 実行委員会は、次のいずれかに該当する場合は、登録を取り消すことができる。
 - ア 本人又は団体から申し出があった場合
 - イ 大会のイメージを損なう行為があった場合
- (3) 実行委員会は、ボランティア活動を行った際、希望者には、別紙証明書を発行することができる。

11 活動日・活動内容の決定

実行委員会は、運営ボランティア登録者の活動日・活動内容の希望調査を行ったうえで決定する。

12 研修等

実行委員会は、運営ボランティアに対し、活動内容に応じて必要な研修又は事前説明会を実施する。

13 報酬及び交通費等

運営ボランティアの事前研修やボランティア活動等に係る報酬は無償とし、交通費は、自己負担とする。

ただし、運営ボランティア活動に従事する際は、必要に応じて実行委員会が昼食弁当及び服飾等の識別品を支給する。

14 個人情報の取扱い

応募者の個人情報については、本大会の運営又はその準備のためにのみ使用し、それ以外の目的には使用しない。

15 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとします。

附 則

この要項は、平成30年9月19日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年3月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和4年7月11日から施行する。

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市運営ボランティア登録申込書

◆必要事項の記入及び該当欄にチェックをお願いします。

申込日(年 月 日)

登録区分	☐ 個人 ☐ 団体登録(別紙 薩摩川内市運営ボランティア団体登録用名簿もご提出ください) 団体名【 】		
ふりがな		生年月日	大正 昭和 平成 年 月 日(歳)
氏 名	※団体登録の場合は代表者名		性 別 ※記載は任意 ☐ 男 ☐ 女
住 所	〒		
職 業	☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ 自営業 ☐ 学生 ☐ 無職 ☐ その他()		
連 絡 先	自宅電話		携帯電話
	F A X		Eメール

上記の者について、ボランティアへの参加を承諾します。(18歳未満の場合は必ずご記入ください。)

保護者氏名	印	続柄	連絡先(同上の場合は省略)
-------	---	----	---------------

※団体登録者の場合は、別紙保護者同意書に記入をお願いします。

種 類	☐ 受付・会場案内 ☐ 会場整理・誘導 ☐ 会場美化 ☐ 休憩所・弁当配布 ☐ 情報支援 ☐ その他()
ボランティアを希望する競技の日程	●本大会 ☐ ホッケー 令和5年10月 8日(日)～令和5年10月12日(木) ☐ バスケットボール 令和5年10月12日(木)～令和5年10月16日(月) ☐ ウェイトリフティング 令和5年10月12日(木)～令和5年10月16日(月) ☐ 軟式野球 令和5年10月13日(金)～令和5年10月14日(土) ☐ 空手道 令和5年10月 8日(日)～令和5年10月10日(火) ●デモンストレーションスポーツ ☐ バウンドテニス 令和5年6月18日(日) ※予定
希望競技・特技・資格	
証明書発行の有無	☐ 必要 ※従事後、証明書を発行します。

◆該当欄にチェックをお願いします。

県実行委員会でも、開・閉会式ボランティアを募集しています。県実行委員会の要請に応じて、あなたの個人情報を提供することに同意されますか。同意される場合には、県実行委員会から募集案内を送付させていただきます。
☐ 同意する ☐ 同意しない

◆お申し込み・お問い合わせ先

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市実行委員会事務局(薩摩川内市国体推進課内)

〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号

TEL:0996-23-5111 FAX:0996-20-5570 E-mail:kokutai-kikaku@city.satsumasendai.lg.jp

燃ゆる感動かごしま国体

薩摩川内市運営ボランティア団体登録用名簿

※代表者の方は、別紙登録申込書の記入をお願いします。

団 体 名					
代表者名					
No.	フリガナ 氏 名	生年月日	性別 ※任意	電話番号 (日中連絡の取れる番号)	個人情報の 県への提供
例	センダイタロウ	■昭和 □平成	■男	電話：0996-12-3456	■同意する
	川内 太郎	33 年 10 月 31 日	□女	携帯：090-1111-2222	□同意しない
1		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
2		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
3		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
4		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
5		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
6		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
7		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
8		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
9		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない
10		□昭和 □平成	□男	電話：	□同意する
		年 月 日	□女	携帯：	□同意しない

注 1 代表者、保護者以外の方をご記入ください。

注 2 欄が不足する場合は、コピーして使用ください。

注 3 本大会開催時点で、18歳未満※は、別紙保護者同意書を添付してください。

※令和5年4月2日から令和6年4月1日に18歳に達する者を含む。

燃ゆる感動かごしま国体

薩摩川内市運営ボランティア保護者同意書

【団体登録者用】

団 体 名			
申込者氏名		性 別 ※記載は任意	☐ 男 ☐ 女
生 年 月 日		電話番号	
上記の者が、燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市運営ボランティアへの応募・参加することについて同意します。 年 月 日 (例：父、母 等) 保護者氏名 _____ (印) 続柄 _____			

本大会開催時点で、18歳未満※は、必ず記入してください。
 ※令和5年4月2日から令和6年4月1日に18歳に達する者を含む。



運営ボランティア活動証明書

様

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」(競技別リハーサル大会)の薩摩川内市開催競技運営ボランティアとして活動したことを証明します

令和 年 月 日

燃ゆる感動かごしま国体薩摩川内市実行委員会
会 長 田 中 良 二

議案第 5 号

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会 専門委員会業務一覧

1 総務・企画委員会

(1) 総務・企画

No.	事項	内容
1	総合計画	①開催準備計画の策定
2	準備（実行）委員会	①市準備（実行）委員会の設置及び運営 ②市準備（実行）委員会事務局の運営
3	実施本部	①競技会実施本部の設置及び運営
4	文部省、日体協、中央競技団体等との連絡調整	①関係中央競技団体との連絡調整 ②関係中央競技団体正規視察に対する資料作成及び対応 ③文部科学省、日体協総合視察に対する資料作成及び対応
5	県内関係機関・団体等との連絡調整	①県との連絡調整 ②関係県競技団体・市体育協会との連絡調整
6	関係機関・団体等に対する協力要請	①関係機関・団体等の協力に係る連絡調整 ②関係機関・団体等への協力要請
7	大会役員等	①大会役員、競技会役員、大会補助員等の編成及び委嘱 ②大会役員、競技会役員、大会補助員等の委嘱状・案内状・お礼状等の作成及び配布 ③大会役員、競技会役員、大会補助員等必携作成及び配布
8	招待者等	①招待者の範囲案の作成 ②招待者名簿の作成 ③招待券の配布 ④招待者の接待
9	参加章等	①競技会関係者に対する参加章等の配布 ②記念章等の作成及び配布 ③視察員章及び報道員章の作成及び配布
10	服飾	①競技会役員・係員・補助員の服飾の調整及び配布 ②競技役員・補助員の服飾の調整及び配布
11	報告書等	①競技会報告書の作成及び配布 ②大会報告書作成資料の提供
12	各種会議	①競技別監督会議の開催
13	その他	①総務・企画に関すること

議案第 5 号

(2) 財務

No.	事項	内容
1	予算編成等	①大会関係予算の編成、執行及び決算
2	国体募金・企業協賛	①県が実施する国体募金・企業協賛への協力
3	プログラム販売	①競技会プログラムの作成及び販売
4	標章等	①標章等の使用許可申請に関する指導
5	その他	①財務に関すること

(3) 広報

No.	事項	内容
1	広報活動	①広報計画の策定 ②県発行各種広報媒体物配布への協力 ③各種広報媒体物の作成及び配布 ④各種宣伝工作物の設置及び管理 ⑤新聞、テレビ、ラジオ等による広告の実施
2	報道対応	①報道機関との連絡調整 ②報道機関の取材活動に対する協力
3	記録映画等	①競技会記録映像の撮影 ②競技会記録写真の撮影 ③県準備（実行）委員会が行う記録写真集作成への協力
4	その他	①広報に関すること

(4) その他

No.	事項	内容
1	その他	①他の専門委員会に属さない事項に関すること

議案第 5 号

2 競技・式典委員会

(1) 競技・式典会場

No.	事項	内容
1	会場整備等	①競技会場及び練習会場の調整 ②競技会場及び練習会場の仮設施設の整備
2	駐車場	①駐車場の確保・調整
3	施設概要	①施設概要の作成及び配布
4	会場管理	①競技会場の装飾、案内標識の設置等の環境整備 ②競技会場の運営及び管理 ③競技会場美化計画の策定及び実施
5	その他	①競技・式典会場に関すること

(2) 競技運営

No.	事項	内容
1	実施要項等	①競技別実施要項の作成及び配布
2	参加申込み	①競技別参加申込書の受付、整理及び県との連絡調整
3	競技運営	①競技の運営
4	競技役員等	①競技役員及び競技補助員編成原案の作成 ②競技役員及び競技補助員養成への協力 ③競技会係員及び競技会補助員編成並びに養成 ④競技役員、競技会補助員、競技会係員及び競技会補助員の委嘱状、お礼状等の作成並びに配布 ⑤競技役員等必携の作成及び配布
5	プログラム	①競技別プログラムの作成及び配布
6	競技記録	①競技記録本部への送信体制の整備 ②競技別記録の収集及び速報 ③記録係員、補助員の編成及び養成 ④記録係員必携の作成
7	総合成績	①競技別成績の得点計算及び順位決定並びに競技記録本部への報告 ②競技別成績計算係員及び補助金の養成
8	表彰状等	①競技別表彰状、賞状の作成及び交付
9	競技別リハーサル大会	①競技別リハーサル大会実施計画の策定 ②競技別リハーサル大会の実施
10	その他	①競技運営に関すること

議案第 5 号

(3) 競技用具

No.	事項	内容
1	競技用具等	①競技用具の現況調査に関する協力 ②競技会場及び練習会場の競技用備品の調整 ③競技会場及び練習会場の競技用消耗品、運営用備品並びに運営用消耗品の調整
2	その他	①競技用具に関すること

(4) 式典

No.	事項	内容
1	開・閉会式等	①競技会表彰式実施要項の作成及び実施 ②競技会表彰式進行計画の策定 ③総合開・閉会式への協力
2	式典演技	①開・閉会式における式典演技の実施の協力 ②式典演技出演者の編成及び養成への協力
3	式典音楽	①競技会表彰式における式典音楽計画の策定及び式典演奏の実施 ②競技会表彰式における式典音楽隊の編成 ③競技会表彰式における式典音楽隊の楽器及び服飾等の調整 ④総合開・閉会式における式典音楽隊に関する協力
4	式典放送	①競技会場内放送計画の策定及び実施 ②競技会場内の臨時放送施設の整備 ③アナウンサー等放送係員の選定及び養成
5	大会旗・炬火リレー	①大会旗・炬火リレー基本計画の策定に関する協力 ②歓迎式等の企画及び実施 ③管内リレー走者の編成 ④大会旗・炬火リレーリハーサル大会及び管内練習の実施 ⑤管内炬火リレーの実施
6	その他	①式典に関すること

議案第 5 号

3 魅力発信・おもてなし委員会

(1) 魅力発信

No.	事項	内容
1	観光	①観光賞品の検討 ②観光及び小林市紹介パンフレット等の作成及び配布
2	特産品・土産物	①特産品、土産物の紹介及び展示コーナーの設置
3	接待所・サービスコーナー	①接待所・サービスコーナーの設置及び運営
4	その他	①魅力発信に関する事

(2) おもてなし

No.	事項	内容
1	接待・接遇	①競技会役員、選手団、視察員等に対する接待計画の策定及び実施 ②案内所・休憩所の設置及び運営 ③接待員及び案内所員の編成並びに研修会の実施
2	歓迎装飾	①歓迎装飾の設置等
3	資料袋	①資料袋の配布
4	市民運動	①市民運動推進計画の策定 ②市民運動の推進 ③市民運動推進のための各種媒体物の作成及び配布
5	ボランティア	①競技会の運営に係るボランティアの募集及び養成
6	売店	①売店設置要項の作成 ②競技会場内での売店設置に関する指導及び規制
7	その他	①おもてなしに関する事

議案第 5 号

4 宿泊・衛生委員会

(1) 宿泊・弁当

No.	事項	内容
1	宿泊施設等実態調査	①県準備（実行）委員会が行う宿泊施設等実態調査の実施及び報告 ②宿泊施設台帳の作成 ③宿舍案内図、標識、表示板、料金表等の作成及び配布
2	宿泊・配宿計画等	①配宿計画の検討・調整 ②広域配宿の市町村との連絡調整 ③県準備（実行）委員会が行う宿泊への協力 ④配宿施設名簿の作成
3	民泊	①民泊の検討 ②民泊協力者の調査及び連絡調整
4	標準献立	①標準献立説明会の開催
5	国体弁当	①弁当調達計画の策定 ②弁当の調達及び斡旋
6	その他	①宿泊・弁当に関すること

(2) 医療衛生

No.	事項	内容
1	医療衛生	①医療衛生計画の策定
2	医療救護	①医療救護計画等の策定 ②医療機関との連絡調整 ③競技会場、練習会場における救護所の設置及び救急車の配置並びに救護の実施 ④県準備（実行）委員会が行う大会旗、炬火リレーにおける救護の協力
3	食品衛生	①食品衛生の監視指導の協力 ②食品衛生説明会の開催 ③食品衛生思想の普及・啓発
4	予防・防疫	①宿泊施設及び食品営業関係者等への予防・防疫の普及・啓発
5	その他	①医療衛生に関すること

議案第 5 号

(3) 環境美化

No.	事項	内容
1	環境衛生	①環境衛生関係営業施設の整備指導の協力 ②清掃パトロールの実施 ③環境衛生思想の普及・啓発
2	環境保全	①廃棄物減量化、リサイクルの実施
3	その他	①環境美化に関すること

議案第 5 号

5 輸送・交通委員会

(1) 輸送・交通

No.	事項	内容
1	輸送計画	①輸送計画の策定 ②県準備（実行）委員会及び輸送機関との連絡調整
2	大会参加者等輸送	①大会参加者等の輸送 ②輸送交通の案内
3	配車・車両借上げ	①配車計画の策定 ②県準備（実行）委員会及び輸送機関との連絡調整 ③車両の借上げ、幹旋及び配車
4	輸送サービス	①輸送関係機関従事者説明会の開催
5	輸送車両駐車場管理	①駐車場の管理及び運営 ②駐車ステッカーの作成及び配布
6	交通計画・交通規制	①交通計画の策定 ②交通案内図の作成及び配布 ③交通案内標識等の設置 ④交通整理の実施 ⑤県準備（実行）委員会が行う大会旗・炬火リレーの交通整理への協力
7	その他	①輸送・交通に関すること

2) 消防・警備

No.	事項	内容
1	消防防災	①消防防災計画の策定 ②消防防災の実施
2	警備	①警備計画の策定 ②競技会場等における警備の実施 ③警備上必要な資材の整備
3	その他	①消防・警備に関すること

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会

小林市開催基本方針

1 基本方針

本市は、高校の競技力が全国レベルにある強みを生かし、小中高連携による競技力向上の取組や各種大会の開催、合宿の誘致を積極的に行い「スポーツのまち小林」を広くPRする施策を進めております。

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会（以下、「両大会」という。）の開催により、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じた市民の健康増進や生きがいづくりに大きく寄与するとともに、本市が目指す「健幸のまちづくり」に貢献します。

また、両大会は、本市の多彩な魅力を発信する絶好の機会であり、本市の都市像である「みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかところ小林市」の実現に向けて、市民・関係団体・企業・行政などが相互に連携を深め、小林の総力を結集する大会を目指します。

2 実施目標

(1) 地域スポーツの活性化と健幸のまちづくり実現に向けた大会

大会開催を契機とし、地域における健康増進や生きがいづくりなど、本市におけるスポーツの推進を一層図り、また、子どもたちが、大会を通じてスポーツに親しみをもち、「健幸のまちづくり」を具現化できる大会を目指します。

(2) オール小林でつくり・はぐくみ・自ら参加する大会

市民が、大会に「参加（する）」、「応援（みる）」、「絆（ささえる）」など、性別、年齢、障がいの有無等に関係なく、様々な関わりを持つことで、開催機運を盛り上げる市民総参加型の大会を目指します。

(3) スポーツのまちとして更なる飛躍につなげる大会

大会を契機として、全国・九州規模の大会や、プロ・実業団・大学といったトップアスリートの合宿誘致を推進するとともに、市民のスポーツや生きがいづくりに対する意欲や関心を高め、「スポーツのまち」として更なる飛躍につなげる大会を目指します。

(4) 小林市の魅力を発信する大会

本市は、雄大な霧島連山や清らかな湧水などに恵まれた自然環境、日本一の宮崎牛をはじめとする農畜産物、人情味あふれる人々、地域性に富んだ多様な文化に育まれたまちであり、このような多彩な魅力を全国に発信する大会を目指します。

国スポ・障スポ オール小林 推進体制

小林市開催基本方針

地域スポーツの活性化と
健幸のまちづくり
実現に向けた大会

スポーツのまちとして
更なる飛躍に
つなげる大会



オール小林で
つくり・はぐくみ・
自ら参加する大会

小林市の魅力を
発信する大会

目標達成のために準備委員会を組織

総会

付託・委任

決定・報告

常任委員会

付託・委任

決定・報告

専門委員会

総務・企画

- 総務・企画
- 財務
- 広報

競技・式典

- 競技式典会場
- 競技・運営
- 競技用具
- 式典

魅力発信 おもてなし

- 魅力発信
- おもてなし

宿泊・衛生

- 宿泊・弁当
- 医事衛生
- 環境美化

輸送・交通

- 輸送・交通
- 消防・警備

オール小林の体制で
大会の成功とスポーツを通じた地域活性化へ！

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会
小林市準備委員会会則

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 この会は、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会小林市準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 準備委員会は、第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会において、小林市で開催される競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営に関し、必要な準備を行うことを目的とする。

(所掌事項)

第 3 条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を行う。

- (1) 競技会の開催に必要な方針及び計画の決定に関すること。
- (2) 競技会の開催に係る準備に関すること。
- (3) 競技会の開催に必要な施設及び設備の整備に関すること。
- (4) 競技会の開催及び準備のための経費に関すること。
- (5) 関係競技団体、関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) その他、準備委員会の目的達成に必要な事項に関すること。

第 2 章 組織

(組織)

第 4 条 準備委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 小林市を代表する者
- (2) 小林市議会を代表する者
- (3) 関係競技団体、関係団体及び関係機関を代表する者
- (4) その他会長が特に必要と認める者

(役員)

第 5 条 準備委員会に次に掲げる役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 常任委員

(4) 監事

(役員を選任)

第6条 会長は、小林市長をもって充てる。

- 2 副会長、常任委員及び監事は、総会の承認を得て、委員のうちから会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は欠けたときはあらかじめ会長が指名した順序により、その職務を代理する。
- 3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第8項に掲げる事項を審議する。
- 4 監事は、準備委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから準備委員会の目的が達成され、解散したときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属団体又は機関の役職を離れた場合は、その委員等は辞職したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

- 2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。
- 3 会長は、前2項の規定により委員等に変更があったときは、次の総会において報告する。
- 4 委員等は、無報酬とする。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に、顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長が重要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。
- 4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。
- 5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 準備委員会に、次に掲げる会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員等をもって構成する。

- 2 総会は必要に応じて会長が招集する。
- 3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれに当たる。
- 4 総会は、次に掲げる事項について審議し、議決する。
 - (1) 競技会の開催に係る基本方針等に関すること。
 - (2) 会則の制定及び改廃に関すること。
 - (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (4) 予算及び決算に関すること。
 - (5) 常任委員会に委任する事項に関すること。
 - (6) その他重要な事項に関すること。
- 5 総会は、委員等の過半数の出席がなければ開催し、議決することができない。ただし、総会に出席できない委員等は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 6 総会の議事は、出席委員等（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問又は参与に総会への出席を求めることができる。
- 8 会長は、必要があると認めるときは、委員へ事前に送付した議案に対し書面をもって表決を求め、その結果を総会の議決に代えることができる。

(常任委員会)

第12条 常任委員会の委員は、市議会、競技団体、経済団体等をもって構成する。

- 2 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって充てる。
- 3 委員長は、会長をもって充てる。
- 4 副委員長は、副会長をもって充てる。
- 5 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 6 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれに当たる。
- 7 委員長に事故があるとき、又は欠けたときは副委員長がその職務を代理する。
- 8 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 総会から委任された事項に関すること。
 - (2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任事項に関すること。
 - (3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること。
 - (4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。
- 9 前条第5項、第6項及び第8項の規定は、常任委員会について準用する。

- 10 常任委員会は、第8項の規定により審議し、決定した事項及び次条第2項の規定により専門委員から報告があった事項を次の総会に報告するものとする。

(専門委員会)

- 第13条 専門委員会は、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。
- 2 専門委員会は、常任委員会から委任又は付託された事項について調査、審議し、その結果を常任委員会に報告するものとする。
- 3 前2項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関して必要な事項は、常任委員会に諮った上で、会長が別に定める。
- 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

- 第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で簡易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

- 第15条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

(経費)

- 第16条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

- 第17条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

- 第18条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 準備委員会の会計に関して必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解散

(解散)

第19条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたときは、総会の議決を経て解散するものとする。

2 準備委員会が解散するときに有する残余財産は、小林市に帰属するものとする。

第8章 補則

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

この会則は、令和5年7月26日から施行する。

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会の概要

1 大会概要

国民スポーツ大会（国スポ）は、広く国民の間にスポーツを普及しスポーツの精神を高揚して、国民の健康増進と体力向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催されている国内最大の国民スポーツ祭典です。

全国障害者スポーツ大会（障スポ）は、障がい者が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として、毎年開催されている障がい者スポーツの全国的な祭典です。

※国民体育大会は、令和 6 年に佐賀県で開催される第 78 回大会以降、国民スポーツ大会に名称変更され、略称も国体から国スポ（こくすぽ）となります。

2 開催年、大会名称、愛称、スローガン、マスコット

開催年 令和 9 年（2027 年）

大会名称 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会

愛称 日本のひなた宮崎国スポ・障スポ

スローガン つむ 紡ぐ感動 神話となれ

マスコット みやざき犬



つむ 紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ



3 主 催

国民スポーツ大会

大 会 公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県
各競技会 日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村

全国障害者スポーツ大会

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県
市町村、その他の関係団体

4 大会の開催時期等

国民スポーツ大会（開催基準要項）

開催時期：9月中旬～10月中旬 開催期間：11日間以内

全国障害者スポーツ大会（開催基準要綱）

開催時期：原則として国スポの直後 開催期間：3日間

※会期については開催3年前（令和6年）に決定予定

5 実施予定競技（宮崎県）

＜国民スポーツ大会＞

正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

特別競技（1 競技）

高等学校野球（硬式および軟式）

公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

デモンストレーションスポーツ

県内に居住している者を対象として実施する競技（※大会ごとに種目を決定）

例：ラジオ体操、少林寺拳法、ウォーキング、サーフィン等

＜全国障害者スポーツ大会＞

正式競技（14 競技）

個人競技

陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ

団体競技

バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、フットソフトボール、バレーボール、サッカー

※令和 4 年 4 月から、フットベースボールはフットソフトボールに名称変更

オープン競技

広く障がい者スポーツを普及する観点から有効と認められる競技

（※大会ごとに種目を決定）

例 スポーツウエルネス吹矢、卓球バレー、ブラインドテニス、車いすダンスなど 6 競技（※茨城大会）

6 実施予定競技（小林市）

（１）実施予定競技

【小林市実施競技】

				
バレーボール	体操	ウエイト	カヌー	バレーボール
（6 人制）	（トランポリン）	リフティング	（スプリント）	（精神障がい）
【少年女子】	【全種別】	【全種別】	【全種別】	

（２）開催場所

健幸まちづくり拠点施設（仮称）	バレーボール（6 人制）【少年女子】 体操（トランポリン）【全種別】 バレーボール【精神】
小林市文化会館	ウエイトリフティング【全種別】
（仮称）小野湖特設カヌー競技場	カヌー（スプリント）【全種別】

資料

44

